

青木信用金庫 第9回新現役交流会

青木信用金庫第9回新現役交流会が2022年8月24日に川口市民ホール「フレンディア」にて開催されました。

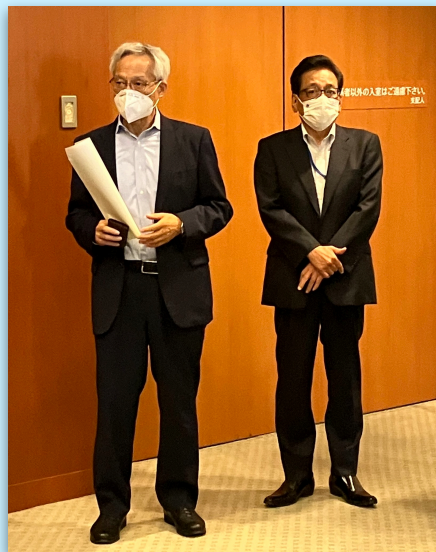
コロナウィルス感染拡大により2年間中止を余儀なくされましたが、青木信用金庫（青木信金）の「交流会はぜひ対面で」という意向で、今回は感染防止策を徹底して3年ぶりの開催となりました。青木信金は埼玉県で最初に新現役交流会に取り組まれた金融機関で、「単なるイベントではなく、企業支援策の中心施策と位置付けている」（清水博司会長）、「お客様のために親身になって本気で交流会に取り組む」（木滝崇弘理事長）というトップの強い意思のもと職員の方が一致団結して運営に取り組まれていました。

参加企業は24企業、面談総数は104回にのぼり（午前12企業 54面談 午後12企業50面談）、熱気に満ちた面談が行われました。参加された新現役の方からは「自分の経験が役立つ喜びがある」「金融機関が紹介してくれる企業は安心」「課題が明確になっていて自分が何を支援すればよいか分かりやすい」「自分のスキルの見直しになる」などの声が聞かれました。企業経営者からは「同じ課題でも多様な視点から新現役一人ひとりの提案内容が異なるので、自分としても課題の捉え方が広くなった」という声が多く聞かれました。多くの方に価値を提供できる新現役交流会の意義と効果を実感した交流会でした。

文＝野澤



会場：川口市民ホール
「フレンディア」



開会に先立ち職員に会の趣旨を徹底される清水会長(左)と木滝理事長(右)



新現役に留意点を説明する保田SKS代表理事



面談風景



面談後にアンケートを記入する新現役の方々